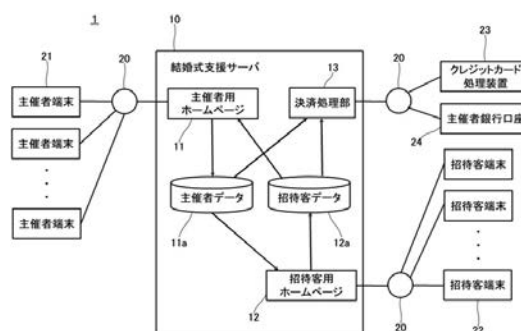




【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

結婚式における祝儀の電子支払いを支援する結婚式支援システムであって、
祝儀額及び該祝儀額の祝儀を電子支払いするためのクレジットカード情報の入力可能な招待客用ホームページと、
前記祝儀が振り込まれる振込先銀行口座の入力が可能な主催者用ホームページと、
前記クレジットカード情報に基づいて前記祝儀額を受領し、該祝儀額又はこれから手数料を差し引いた額を前記振込先銀行口座に振り込む決済部と、
を備える結婚式支援システム。

【請求項 2】

前記主催者用ホームページは、決済日の入力がさらに可能であり、
前記決済部は、前記決済日に振り込むことを特徴とする、請求項 1 に記載の結婚式支援システム。

【請求項 3】

前記主催者用ホームページは、1 以上の祝儀額の設定がさらに可能であり、
前記招待客用ホームページは、設定された前記 1 以上の祝儀額を選択可能に表示することを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の結婚式支援システム。

【請求項 4】

前記招待客用ホームページは、氏名及び出欠の入力がさらに可能であることを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の結婚式支援システム。

【請求項 5】

前記主催者用ホームページは、招待客毎の前記出欠及び支払われた前記祝儀額を表示することを特徴とする、請求項 3 又は 4 に記載の結婚式支援システム。

【請求項 6】

前記主催者用ホームページは、主催者メッセージの入力がさらに可能であり、
前記招待客用ホームページは、前記主催者メッセージを表示することを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の結婚式支援システム。

【請求項 7】

前記招待客用ホームページは、招待客メッセージの入力がさらに可能であり、
前記主催者ホームページは、前記招待客メッセージを招待客別に表示することを特徴とする、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の結婚式支援システム。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、結婚式における祝儀の電子支払いを支援する結婚式支援システムに関する。

【背景技術】**【0002】**

結婚式に招待された招待客は、結婚式当日に、祝儀袋に祝儀を包んで持参して主催者（新郎新婦又はその親族等の結婚式を主催するものを言う。以下同じ。）に渡している。しかし、式場で多額の現金を扱うことは、防犯等の面で問題がある（例えば、特許文献 1 参照）。そこで、特許文献 2 及び 3 には、インターネット上に結婚式サイトを設け、このサイトに結婚式場に設けたカメラを介して結婚式の映像を配信するとともに、ネットワークを通じて祝電、祝儀、乾杯の申し込みが可能な支援システムが開示されている。しかし、祝儀の申し込みに関して、電子決済が可能であることの開示にとどまり、その手続きの詳細は開示されていない。また、式前に式費用の支払いが求められることが多いため、主催者は、式当日に祝儀を受け取るのでは多額の式費用を立て替えなければならなくなる。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】 実用新案登録 3 1 9 6 8 1 8 号公報

10

20

30

40

50

【特許文献2】特開2004-015418号公報

【特許文献3】特開2004-221769号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明は、招待客が結婚式の祝儀を式前に渡すことができるよう、祝儀の電子支払いを支援する結婚式支援システムを提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明は、結婚式における祝儀の電子支払いを支援する結婚式支援システムであって、祝儀額及びこの祝儀額の祝儀を電子支払いするためのクレジットカード情報の入力可能な招待客用ホームページと、祝儀が振り込まれる振込先銀行口座の入力が可能な主催者用ホームページと、クレジットカード情報に基づいて祝儀額を受領し、この祝儀額又はこれから手数料を差し引いた額を振込先銀行口座に振り込む決済部と、を備える結婚式支援システムである。

【0006】

これによれば、結婚式の招待客が招待客用ホームページより祝儀額とこの額の祝儀を電子支払いするためのクレジットカード情報を入力し、主催者が主催者用ホームページより祝儀が振り込まれる振込先銀行口座を入力することで、決済部により、招待客が招待客用ホームページから入力したクレジットカード情報に基づいて祝儀額を受領し、その祝儀額又はこれから手数料を差し引いた額を主催者が主催者用ホームページから入力した振込先銀行口座に振り込むことで、結婚式における祝儀の電子支払いを支援することができる。

【0007】

本発明の結婚式支援システムは、主催者用ホームページは、決済日の入力がさらに可能であり、決済部は、決済日に振り込むことを特徴とする。

【0008】

これによれば、主催者が主催者用ホームページより決済日を入力することで、決済部により、主催者が主催者用ホームページから指定した決済日に祝儀を電子決済することができる。

【0009】

本発明の結婚式支援システムは、主催者用ホームページは、1以上の祝儀額の設定がさらに可能であり、招待客用ホームページは、設定された1以上の祝儀額を選択可能に表示することを特徴とする。

【0010】

これによれば、主催者が主催者用ホームページより1以上の祝儀額を設定することで、招待客は招待客用ホームページから主催者が設定した1以上の祝儀額からいずれかの額を選択して電子支払いすることができる。

【0011】

本発明の結婚式支援システムは、招待客用ホームページは、氏名及び出欠の入力がさらに可能であることを特徴とする。

【0012】

これによれば、招待客が招待客用ホームページより自身の氏名及び結婚式の出欠を入力することで、招待客の出欠を受け付けることができる。

【0013】

本発明の結婚式支援システムは、主催者用ホームページは、招待客毎の出欠及び支払われた祝儀額を表示することを特徴とする。

【0014】

これによれば、主催者用ホームページが招待客毎の出欠及び支払われた祝儀額を表示することで、主催者は、主催者用ホームページを介して招待客の出欠及び支払われた祝儀額を管理することができる。

10

20

30

40

50

【0015】

本発明の結婚式支援システムは、主催者用ホームページは、主催者メッセージの入力がさらに可能であり、招待客用ホームページは、主催者メッセージを表示することを特徴とする。

【0016】

これによれば、主催者が主催者用ホームページより主催者メッセージを入力することで、招待客用ホームページに主催者メッセージを表示して、招待客に主催者メッセージを伝えることができる。

【0017】

本発明の結婚式支援システムは、招待客用ホームページは、招待客メッセージの入力がさらに可能であり、主催者ホームページは、招待客メッセージを招待客別に表示することを特徴とする。

10

【0018】

これによれば、招待客が招待客用ホームページより招待客メッセージを入力することで、主催者用ホームページに招待客メッセージを表示して、主催者に招待客メッセージを伝えることができる。

【発明の効果】

【0019】

本発明の結婚式支援システムによれば、結婚式における祝儀の電子支払いを支援することが可能となる。

20

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】図1は、本実施形態に係る結婚式支援システムの構成を示す。

【図2】図2は、主催者データの内容を示す図である。

【図3】図3は、招待客データの内容を示す図である。

【図4】図4は、主催者用ホームページ（ログインページ）を示す図である。

【図5】図5は、主催者用ホームページ（トップページ）を示す図である。

【図6】図6は、主催者用ホームページ（ご祝儀状況一覧ページ）を示す図である。

【図7】図7は、主催者用ホームページ（個人設定ページ）を示す図である。

【図8】図8は、主催者用ホームページ（web招待状設定ページ）を示す図である。

30

【図9】図9は、主催者用ホームページ（URL及び2次元バーコード表示ページ）を示す図である。

【図10】図10は、招待客用ホームページ（トップページ）を示す図である。

【図11】図11は、招待客用ホームページ（確認画面）を示す図である。

【図12】図12は、招待客用ホームページ（決済手続き開始画面）を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0021】

以下、本発明の一実施形態について説明する。

【0022】

図1に、本実施形態に係る結婚式支援システム1の構成を示す。結婚式支援システム1は、主催者（通常、新郎及び新婦）が主催する結婚式において招待客が祝儀を電子支払いするのを支援するシステムであり、ネットワーク20を介して相互に通信可能に接続された結婚式支援サーバ10、1以上の主催者端末21、1以上の招待客端末22、クレジットカード処理装置23、及び主催者銀行口座24から構成される。

40

【0023】

結婚式支援サーバ10は、結婚式支援システム1を制御するサーバであり、一例として、パーソナルコンピュータであるとする。結婚式支援サーバ10は、中央処理装置（CPU）、記憶装置、及び通信装置（いずれも不図示）を有する。

【0024】

CPU（不図示）は、結婚式支援アプリケーションを実行することにより、結婚式支援

50

サーバ 10 に、結婚式を支援するサーバ機能、すなわち主催者用ホームページ 11、招待客用ホームページ 12、及び決済処理部 13 を発現させる。主催者用ホームページ 11 は、少なくとも、祝儀が振り込まれる振込先銀行口座の入力が可能である。招待客用ホームページ 12 は、少なくとも、祝儀を電子支払いするためのクレジットカード情報の入力が可能である。決済処理部 13 は、クレジットカード情報に基づいて祝儀額を受領し、この祝儀額又はこれから手数料を差し引いた額を振込先銀行口座に振り込む。主催者用ホームページ 11 及び招待客用ホームページ 12 からの各種情報の入力については後述する。

【0025】

なお、結婚式支援アプリケーションは、例えば、ROM（不図示）に記憶され、それを CPU が読み込む、或いは CD-ROM 等の記憶媒体に記憶され、それを CPU が読み取り装置を用いて読み込むことができる。

10

【0026】

記憶装置（不図示）は、主催者により主催者用ホームページ 11 から入力される主催者データ及び招待客により招待客用ホームページ 12 から入力される招待客データを記憶するメモリ、ハードディスクドライブ（HDD）等の記憶装置である。ここで、図 2 に示すように、主催者データは、例えば振込先口座、決済締日、祝儀額、メッセージ画像、及びメッセージを含み、記憶装置内の主催者データベース 11a に記憶される。また、図 3 に示すように、例えば（招待客の）氏名、メールアドレス、出欠、祝儀額、及びメッセージを含み、記憶装置内の招待客データベース 12a に記憶される。ただし、クレジットカード情報は記憶されない。なお、記憶装置は、結婚式支援サーバ 10 内に備えられているに限らず、LAN 等のネットワークを介して結婚式支援サーバ 10 に接続されているものとしてもよい。

20

【0027】

通信装置（不図示）は、ネットワーク 20 を介して 1 以上の主催者端末 21、1 以上の招待客端末 22、クレジットカード処理装置 23、及び主催者銀行口座 24 と相互に通信する手段であり、例えば情報を SSL 暗号化し、POST 形式で送信することができる。

【0028】

1 以上の主催者端末 21 は、1 以上の異なる主催者がそれぞれ所有するパーソナルコンピュータ、タブレットコンピュータ、スマートフォン等の通信端末である。各主催者は、主催者端末 21 を用いて、主催者用ホームページ 11 にアクセスして、各種情報を入力することができる。

30

【0029】

1 以上の招待客端末 22 は、1 以上の異なる招待客がそれぞれ所有するパーソナルコンピュータ、タブレットコンピュータ、スマートフォン等の通信端末である。各招待客は、招待客端末 22 を用いて、招待客用ホームページ 12 にアクセスして、各種情報を入力するとともに祝儀を電子支払することができる。

【0030】

ここで、主催者端末 21 及び招待客端末 22 について「1 以上」としている。結婚式支援システム 1 が同時に複数の結婚式を支援することができるためであり、1 の結婚式については 1 の主催者端末 21 と、その結婚式に招待された 1 以上の招待客に係る 1 以上の招待客端末 22 が使用される。

40

【0031】

クレジットカード処理装置 23 は、クレジットカード会社が所有する装置であり、決済処理部 13 からの要求により、招待客のクレジットカード情報に基づいて祝儀額又はこれから手数料を差し引いた額を結婚式支援システム 1 を運営する者の口座に振り込む。

【0032】

主催者銀行口座 24 は、主催者が所有する銀行口座であり、招待客が電子支払する祝儀が、結婚式支援システム 1 を運営する者の口座から振り込まれる。

【0033】

主催者による主催者用ホームページ 11 からのデータ入力について説明する。なお、主

50

催者は、事前に、例えば自身を識別するID（ここでは自身のメールアドレスとする）及びパスワードを発行しているものとする。主催者用ホームページ11より入力される主催者データは先述の主催者データベース11aに記録される。主催者は、自身の主催者端末21から主催者用ホームページ11にアクセスする。

【0034】

図4に、主催者用ホームページ11のログインページ110を示す。ログインページ110は、入力フォーム111、112、パスワード再発行用リンク113、及びアイコン114を表示する。主催者は、入力フォーム111にメールアドレス及び入力フォーム112にパスワードをそれぞれ入力し、アイコン114をクリックすることで主催者用ホームページ11にログインする。なお、主催者は、パスワードを紛失した場合にパスワード再発行用リンク113をクリックすることで、パスワードを再発行するページに移動することができる。

【0035】

図5に、ログイン後に表示されるトップページ120を示す。トップページ120は、リンク121～125を表示する。主催者は、リンク121をクリックすることでトップページ120に、リンク122をクリックすることでご祝儀状況一覧ページ130に、リンク123をクリックすることで個人設定ページ140に、リンク124をクリックすることでweb招待状設定ページ150に、リンク125をクリックすることでURL及び2次元バーコード表示ページ160に、移動することができる。

【0036】

図6に、ご祝儀状況一覧ページ130を示す。ご祝儀状況一覧ページ130は、主催者が招待客の出欠及び支払われた祝儀額を閲覧するためのページであり、祝儀の決済メ切期日、祝儀の支払い状況の一覧、選択可能な祝儀額、及びアイコン132を表示する。祝儀の決済メ切期日は、主催者により、個人設定ページ140から設定される。祝儀の支払い状況の一覧は、登録済みの招待客毎に、招待客からのメッセージの有無を示すアイコン131、招待客の氏名（図中、名前と示されている）、祝儀の事前支払の有無（図中、事前と示されている）、出欠（図中、当日と示されている）、支払われた祝儀額（図中、ご祝儀と示されている）、及び手数料を除いた振込額を含む。アイコン131が表示されている場合、主催者は、これをクリックすることで、その招待客から寄せられたメッセージを視ることができる。選択可能な祝儀額は、主催者により個人設定ページ140から設定された1以上の額、手数料の額、手数料を引いた振込額を含む。主催者は、アイコン132をクリックすることで、祝儀の支払い状況の一覧を例えばエクセル形式で主催者端末21に保存することができる。

【0037】

ここで、アイコン131をクリックすると、招待客用ホームページ12（後述）において入力されたメッセージ215を閲覧することができる。

【0038】

図7に、個人設定ページ140を示す。個人設定ページ140は、振込先銀行口座等を入力するためのページであり、入力フォーム141～143及びアイコン144を表示する。主催者は、入力フォーム141に、振込先口座情報、すなわち、口座種別、銀行名、支店名、及び口座番号を入力することができる。ここで入力された銀行口座に祝儀が振り込まれることとなる。また、主催者は、入力フォーム142に決済締日を入力して、決済締日を指定することができる。それにより、決済処理部13により、主催者が指定した決済締日（例えば式前の任意の日）に祝儀が電子決済されることとなる。また、主催者は、入力フォーム143に祝儀額を入力して、招待客が選択可能な1以上の祝儀額を設定することができる。ここでは、一例として、10000円、20000円、及び30000円の3つが設定されている。それにより、招待客は、後述するように、招待客用ホームページ12から、主催者が設定した1以上の祝儀額からいずれかの額を選択して電子支払いすることとなる。また、主催者は、アイコン144をクリックすることで、設定した内容を確認することができる。

10

20

30

40

50

【0039】

図8に、web招待状設定ページ150を示す。web招待状設定ページ150は、イメージ151、入力フォーム152、及びアイコン153を表示する。主催者は、このページの上にイメージのデータファイルをドラッグすることで、また入力フォーム152にメッセージを入力することで、後述するイメージ231及び新郎新婦からのメッセージ232を設定することができる。主催者は、アイコン（プレビュー）153をクリックすることで、入力したイメージ151及びメッセージ152をページ上に表示して確認し、アイコン（保存）153をクリックすることでそれらを保存することができる。なお、イメージ231及び新郎新婦からのメッセージ232は、招待客用ホームページ12（決済手続き開始画面230）に表示され、招待客に伝えることができる。

10

【0040】

図9に、URL及び2次元バーコード表示ページ160を示す。URL及び2次元バーコード表示ページ160は、招待客に、主催者が管理する招待客用ホームページ12にアクセスするためのURL及びそのURLを記録した2次元バーコード161を表示する。これらのURL及び2次元バーコード161は、招待客への案内状に記載される。なお、案内状は、紙面及び電子メールのいずれでもよい。また、URL及び2次元バーコード表示ページ160は、主催者用ホームページ11からの入力に不備を発見した場合に主催者に確認を促すメッセージ、その他の注意事項も表示する。

【0041】

招待客による招待客用ホームページ12からのデータ入力について説明する。なお、招待客は、事前に、主催者から送られた案内状を受けとり、これに記載されたURL又は2次元バーコードより主催者が管理する招待客用ホームページ12にアクセスすることができる。また、招待客用ホームページ12より入力された招待客データは先述の招待客データベース12aに記録される。招待客は、自身の招待客端末22から招待客用ホームページ12にアクセスする。

20

【0042】

図10に、招待客用ホームページ12のトップページ210を示す。トップページ210は、招待客が祝儀を電子支払いするためのクレジットカード情報を入力するためのページであり、入力フォーム211～212、選択フォーム213、及びアイコン214を表示する。招待客は、入力フォーム211に、自身の氏名、メールアドレス、結婚式の出席、及び新郎新婦へのメッセージ215を入力することができる。これにより、招待客の出席が受け付けられることとなる。なお、メッセージ215は、主催者用ホームページ11のご祝儀管理一覧ページ130において招待客別に表示用のアイコン131が表示され、主催者に伝えることができる。また、招待客は、入力フォーム212に祝儀の支払いに使用するクレジットカードの情報、例えばカード番号、有効期限、及びカード氏名を入力することができる。なお、これらクレジットカードの情報は、招待客データベース12aに記録されず、結婚式支援サーバ10のメモリ等に一時的に記憶される。決済処理部13による祝儀の電子支払いが完了後、消去されることとなる。また、招待客は、選択フォーム213より、主催者が設定した1以上の祝儀額からいずれか額を選択することができる。この例では、10000円が選択されている。また、招待客は、アイコン214をクリックすることで、次の確認画面220に進むことができる。

30

40

【0043】

ここで、クレジットカード情報については、ハッキング等による事故防止のため、クレジットカード処理装置23に送信した後は、保存せずに削除することが好ましい。招待客データ12aにも含まないものとする（図3参照）。

【0044】

図11に、確認画面220を示す。確認画面220は、招待客がトップページ210から入力した情報を確認するためのページであり、自己の氏名等、クレジットカード情報、及び祝儀額を表示する。招待客は、これらの情報を確認し、修正を要する場合はアイコン（戻る）221をクリックすることでトップページ210に戻ることができ、修正を要さ

50

ない場合はアイコン（完了）をクリックすることで次の決済手続き開始画面 2 3 0 に進むことができる。

【0 0 4 5】

図 1 2 に、決済手続き開始画面 2 3 0 を示す。決済手続き開始画面 2 3 0 は、招待客が祝儀の電子支払いの手続きを開始するためのページであり、主催者が web 招待状設定ページ 1 5 0 から設定したイメージ 2 3 1 及び新郎新婦からのメッセージ 2 3 2、アイコン 2 3 3 を表示する。招待客は、このページで主催者からのメッセージを確認しつつ、アイコン 2 3 3 をクリックすることで祝儀の電子支払いを決定する。それにより、祝儀の電子支払いの手続きが開始される。

【0 0 4 6】

祝儀の電子支払いの手続きが開始されると、決済処理部 1 3 は、クレジットカード処理装置 2 3 に通信して、クレジットカード会社から、招待客が招待客用ホームページ 1 2 から入力したクレジットカード情報に基づいて祝儀額を受領し、それとともにクレジットカードの情報を消去する。決済処理部 1 3 は、招待客毎に同様の手続きを行う。決済処理部 1 3 は、主催者が主催者用ホームページ 1 1 から入力した決済メ切期日に、招待客のそれぞれから受領した祝儀額又はこれから手数料を差し引いた額（本例では手数料 8 0 0 円を差し引いた額）を、主催者が主催者用ホームページ 1 1 から入力した主催者銀行口座 2 4 に振り込む。これにより、結婚式における祝儀の電子支払いが完了する。

【0 0 4 7】

以上詳細に説明したように、本実施形態に係る結婚式支援システム 1 は、祝儀額及びこの祝儀額の祝儀を電子支払いするためのクレジットカード情報の入力可能な招待客用ホームページ 1 2、祝儀が振り込まれる振込先銀行口座の入力が可能な主催者用ホームページ 1 1、及びクレジットカード情報に基づいて祝儀額を受領し、この祝儀額又はこれから手数料を差し引いた額を主催者銀行口座 2 4 に振り込む決済処理部 1 3 を備える。これにより、決済処理部 1 3 により、招待客が招待客用ホームページ 1 2 から入力したクレジットカード情報に基づいて祝儀額を受領し、その祝儀額又はこれから手数料を差し引いた額を主催者が主催者用ホームページ 1 1 から入力した主催者銀行口座 2 4 に振り込むことで、結婚式における祝儀の電子支払いを支援することができる。

【産業上の利用可能性】

【0 0 4 8】

本発明の結婚式支援システムは、結婚式における祝儀の電子支払いを支援するのに好適である。多くの結婚式場、結婚式主催者による利用が考えられる。

【符号の説明】

【0 0 4 9】

- 1 結婚式支援システム
- 1 0 結婚式支援サーバ
- 1 1 主催者用ホームページ
- 1 1 a 主催者データベース
- 1 2 招待客用ホームページ
- 1 2 a 招待客データベース
- 1 3 決済処理部
- 2 0 ネットワーク
- 2 1 主催者端末
- 2 2 招待客端末
- 2 3 クレジットカード処理装置
- 2 4 主催者銀行口座
- 1 1 0 ログインページ
- 1 2 0 トップページ
- 1 3 0 ご祝儀状況一覧ページ
- 1 3 1 メッセージアイコン

10

20

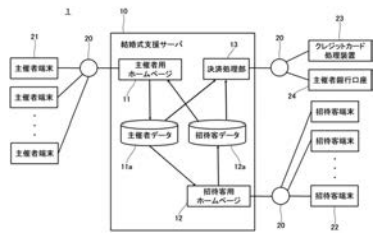
30

40

50

- 1 4 0 個人設定ページ
- 1 5 0 w e b招待状設定ページ
- 1 6 0 U R L 及び 2 次元バ ー コ ー ド 表 示 ペ ー ジ
- 2 1 0 ト ッ プ ペ ー ジ
- 2 2 0 確 認 画 面
- 2 3 0 開 始 画 面

【 図 1 】



【 図 2 】

振込先口座	決済種目	振替額	メッセージ画像	メッセージ

【 図 3 】

氏名	メールアドレス	密 号	振替額	メッセージ

【 図 4 】

110

祝儀

メールアドレス

111

パスワード

112

113

▶ パスワードをお忘れの場合はこちら

114

ロ グ イ ン

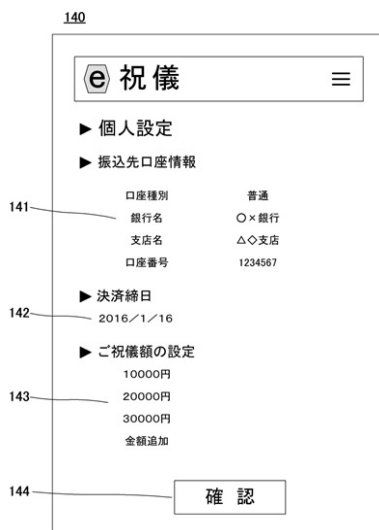
【図 5】



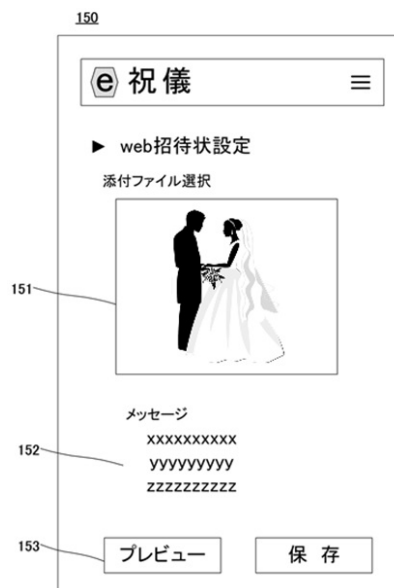
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【図 9】

160


祝儀


▶ e祝儀ゲスト画面

▶ URL
http://xyyyzz.co.jp/

▶ 注意事項
XXXXXXXXXX
YYYYYYYYYY
ZZZZZZZZZZ

161

【図 10】

210


祝儀


▶ 情報入力画面

お名前 田中太郎
メールアドレス tanakatarou@xxx.yyy.jp
☐ ご出席 ☐ ご欠席
メッセージ
XXXXXXXXXX

▶ クレジットカード情報

カード番号 1234567890
有効期限 19 / 01
カード氏名 TANAKA TARO

▶ 会食費(お祝い費)
¥10,000

確認

211

212

213

214

【図 11】

220


祝儀


▶ 確認画面

お名前 田中太郎
メールアドレス tanakatarou@xxx.yyy.jp
出席
メッセージ
XXXXXXXXXX

クレジットカード情報

カード情報 1234567890
有効期限 19 / 01
カード氏名 TANAKA TARO

会食費(お祝い費)
¥10,000

お間違いない場合は、完了ボタンを押してください

修正 完了

221

【図 12】

230


祝儀


▶ 決済手続き開始画面

新郎新婦からのメッセージ
XXXXXXXXXX
YYYYYYYYYY
ZZZZZZZZZZ
山田一郎・山田花子

お手続き

231

232

233